

がんを防ごう

患者が望む治療、社会的支援のあり方は

来月6日札幌で「がんサミット」



壇岡健一さん



井門明さん



中司哲雄さん

がん患者や医療者、行政担当者、議員、企業、教育者、メディアなどが立場を超え、患者が望む北海道のがん対策や全国的にも高いがん死亡率の低減策を話し合う「北海道がんサミット2017」患者の声を、が「ん対策へ」が、8月6日午前10時～午後3時20分、札幌市中央区大通西19のWEST19で開かれる。

北海道がん患者連絡会や北海道新聞社など13団体でつくる、北海道がん対策「六位一体」協議会の主催で、昨年に次いで2回目。

1部は講演。テーマと講師は▽道受動喫煙防止条例案について 中司哲雄・がん対策北海道協議会議員の会長代行▽美瑛市受動喫煙防止条例成立の背景 井門

明・美瑛市医師会長▽患者・住民の成果が届く北海道がん計画に 壇岡健一・がん政策サミット理事長。

2部は参加者が話し合うグループワーク。テーマは①たばこ対策②早期発見・検診③希少がん・難治性がん④小児がん・AYA世代のがん⑤高齢者のがん⑥緩和ケア⑦相談支援・情報提供⑧子育て世代のがんを含む地域社会の患者支援⑨がん患者の就労を含む社会的な問題⑩子どものがん教育⑪成人への普及啓発⑫がん対策の基本⑬がんの治療。

話し合った意見や提言は要望書にまとめて後日、知事や札幌市長らに手渡す。道の新たながん対策計画に盛り込むなど政策実現を働きかける。受動喫煙ゼロを目指すアピールも出す。

関心がある人なら誰でも参加できる。参加費500円(昼食付き)。申込用紙に必要事項を記入し、協議会事務局へ。締め切りは20日だが先着200人で締め切る。申込用紙は、北海道がんセンターのホームページからダウンロードできる。問い合わせは、道がんセンターがん相談支援センター内の協議会事務局 ☎011・811・9118へ。